

2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <https://www.nisseiasb.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）藤原 誠

問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長（氏名）山本 雄一 TEL 0267-23-1560

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第3四半期	35,977	9.8	10,169	20.2	10,395	20.3	7,240	19.7
2025年9月期第3四半期	32,754	23.8	8,457	63.2	8,644	48.9	6,046	46.6

（注）包括利益 2026年9月期第3四半期 9,069百万円（44.2％） 2025年9月期第3四半期 6,288百万円（7.8％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	483.01	—
2025年9月期第3四半期	403.36	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年9月期第3四半期	87,936	65,017	73.9
2025年9月期	78,386	58,946	75.1

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 64,956百万円 2025年9月期 58,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	200.00	200.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期（予想）				240.00	240.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	50,000	14.5	13,000	22.2	13,100	20.0	9,100	17.6	607.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年9月期3Q	14,991,108株	2025年9月期	14,991,108株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年9月期3Q	50株	2025年9月期	－株
------------	-----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年9月期3Q	14,991,058株	2025年9月期3Q	14,991,141株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetおよび当社ウェブサイト同日掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
3. 補足情報	12
受注及び販売の実績	12

1. 経営成績等の概況

（1）経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年10月1日～2026年6月30日、以下当期間）の世界経済は、地政学リスクの長期化や高止まりする物価・金利水準を背景に、企業の設備投資や購買意欲において慎重姿勢が強まるなど、全体として伸び悩みの傾向が見られました。

当社グループが属するストレッチブロー成形機業界におきましても、原材料価格の高騰や深刻な人手不足を背景に、顧客の生産現場におけるコスト負担増への対応が喫緊の経営課題となっております。

このような環境下、当社は主力製品である1ステップ成形機の最大の特徴である「省人・省エネ・省スペース（Saving Labor, Saving Energy, Saving Space）」という産業機械としての普遍的な強みに、新たに「省材料（Saving Material）」を加えた「4Sコンセプト」を提唱しております。

中でも、当社の独自技術である「ゼロ・クーリングシステム」は、ボトル成形のサイクルタイムを短縮しつつ、より少ない樹脂材料での容器成形を可能にするものであり、足元の原材料価格高騰に対するソリューションとして世界的に高い期待が寄せられております。これら「4Sコンセプト」を実現する唯一無二の技術力により、顧客の経営課題に対する当社製品の優位性は一段と鮮明になっております。

特に、当第3四半期連結会計期間（2026年4月1日～6月30日）におきましては、樹脂価格の高騰やナフサ不足による供給混乱など、プラスチック容器産業にとっては強い逆風が吹いたものの、当社は投資効率に優れた独自技術の訴求に加え、成形機本体のみならず、金型やアフターサービスまで含めた「トータルソリューション提案」をこれまで以上に強化した結果、需要は底堅さを維持しました。その結果、当期間の受注高は41,817百万円（前年同期比127.7%）、受注残高は23,066百万円（前年同期末比128.4%）となり、第3四半期累計としての過去最高を更新しました。

売上成績につきましても、主力の中小型機の好調さに加え、金型およびアフターサービスによる「ストックビジネス」が堅調に推移した結果、売上高は35,977百万円（前年同期比109.8%）と第3四半期累計として過去最高を更新しました。

利益面につきましては、増収効果に加え、製品・地域ミックスに恵まれた結果、売上総利益は、18,183百万円（同115.7%）、営業利益は10,169百万円（同120.2%）とそれぞれ大幅増益となりました。それにより、経常利益は10,395百万円（同120.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,240百万円（同119.7%）となり、各段階利益において第3四半期累計としての過去最高を更新しました。

当期間における損益の状況は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
前第3四半期	32,754	15,717	8,457	8,644	6,046
当第3四半期	35,977	18,183	10,169	10,395	7,240
前年同期比	109.8%	115.7%	120.2%	120.3%	119.7%

製品別の業績は次のとおりであります。

製品別受注状況

（単位：百万円）

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
前第3四半期	16,124	10,456	1,933	4,224	32,738
当第3四半期	21,821	12,536	2,405	5,053	41,817
前年同期比	135.3%	119.9%	124.4%	119.6%	127.7%

製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
前第3四半期	17,068	9,544	1,991	4,150	32,754
当第3四半期	18,003	11,260	1,787	4,926	35,977
前年同期比	105.5%	118.0%	89.8%	118.7%	109.8%

① ストレッチブロー成形機

不透明な経済環境を受け、顧客の設備投資意欲の減退が懸念されましたが、投資効率に優れた中小型機の需要が好調に推移した結果、当期間の受注高は21,821百万円（前年同期比135.3%）と大きく増加しました。売上高につきましては、大型の飲料用成形機（PF36シリーズ）が前期の反動により減少したものの、中小型機の販売が好調に推移したことにより、18,003百万円（同105.5%）と底堅さを維持しました。その結果、受注および売上高はそれぞれ第3四半期累計として過去最高を更新しました。

② 金型

成形機本体と同様に、樹脂価格の高騰に伴う容器の小型化・軽量化ニーズの高まりを受け、多品種中小ロット生産向けの中小型機用の金型の需要が増加しました。その結果、受注高は12,536百万円（同119.9%）、売上高は11,260百万円（同118.0%）となり、ともに第3四半期累計としての過去最高を更新しました。

③ 部品その他

顧客の生産設備における安定稼働要求の高まりや、世界的なエンジニア不足を背景に、保守・サービスの需要は全世界で堅調に推移しました。その結果、受注高は5,053百万円（同119.6%）、売上高は4,926百万円（同118.7%）と引き続き好調を維持し、それぞれ第3四半期累計として過去最高を更新しました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント（地域）別受注状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前第3四半期	10,370	7,234	9,867	5,265	32,738
当第3四半期	15,402	7,919	12,641	5,854	41,817
前年同期比	148.5%	109.5%	128.1%	111.2%	127.7%

セグメント（地域）別売上高状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前第3四半期	11,172	5,862	9,588	6,131	32,754
当第3四半期	13,275	7,440	10,223	5,037	35,977
前年同期比	118.8%	126.9%	106.6%	82.2%	109.8%

セグメント（地域）別利益

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前第3四半期	2,062	1,041	2,569	5,052	10,725
当第3四半期	2,056	1,204	2,822	6,661	12,744
前年同期比	99.7%	115.7%	109.8%	131.8%	118.8%

① 米州

需要は米州全体で堅調に推移しました。北米市場では旺盛な購買力に加え、関税コストの価格転嫁が進んだことにより、受注・売上ともに増加しました。中南米市場におきましても、政情不安に伴う一時的な不透明感を払拭し、堅調に推移しました。その結果、受注高は15,402百万円（前年同期比148.5%）、売上高は13,275百万円（同118.8%）となり、それぞれ第3四半期累計として過去最高を更新しました。一方、セグメント利益につきましては、期初における米国関税コストの負担や展示会費用の増加といった一過性費用を吸収し、2,056百万円（同99.7%）と前年同水準まで回復しました。

② 欧州

経済環境には不透明感が見られるものの、「4Sコンセプト」に基づく当社製品の需要は根強く、堅調に推移しました。その結果、受注高は7,919百万円（同109.5%）、売上高は7,440百万円（同126.9%）となり、それぞれ第3四半期累計として過去最高を更新しました。セグメント利益につきましても、増収効果等により展示会費用を吸収し、1,204百万円（同115.7%）の増益となりました。

③ 南・西アジア

東南アジア市場におきましては市況回復に時間を要しているものの、インド市場はマザー工場の地の利を活かし、非常に好調に推移しました。また、中東市場におきましてはイラン情勢の影響を受け一時的な調整を余儀なくされたものの、アフリカ市場が堅調に推移し、地域全体を底支えました。その結果、受注高は12,641百万円（同128.1%）、売上高は10,223百万円（同106.6%）となり、それぞれ第3四半期累計として過去最高を更新しました。セグメント利益につきましても、増収効果等により2,822百万円（同109.8%）と増益となりました。

④ 東アジア

中国市場におきましては、景気停滞および競争激化の影響により低調に推移したものの、日本市場では中小型機の需要が堅調に推移しました。その結果、受注高は5,854百万円（同111.2%）と前年同期を上回りました。一方、売上高につきましては、日本国内向け大口案件（PF36シリーズ）の剥落影響により、5,037百万円（同82.2%）と前年同期を下回りました。セグメント利益につきましては、好調な海外需要を背景とした海外連結子会社向けの販売増加や製品ミックスの改善等が奏功した結果、6,661百万円（同131.8%）と増益となりました。

(2) 財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末（以下、当期間末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ7,356百万円増加し、68,833百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ2,194百万円増加し、19,103百万円となりました。この結果、当期間末の資産合計は、前期末と比べ9,550百万円増加し、87,936百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ2,632百万円増加し、15,524百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ846百万円増加し、7,395百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ6,070百万円増加し、65,017百万円となりました。

（資産、負債及び純資産の状況）

（単位：百万円）

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
前期末	61,477	16,908	12,891	6,548	58,946
当期間末	68,833	19,103	15,524	7,395	65,017

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の連結業績予想につきましては、2026年5月13日公表の予想に変更はありません。

（注）当期間の経営成績の分析、詳細については、本日TDnet及び以下当社ウェブサイトの開示しました決算補足資料をご参照ください。

（URL：<https://www.nisseiasb.co.jp/ja/ir/library/investment-seminar/>）

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,469	35,758
受取手形及び売掛金	9,430	11,475
商品及び製品	2,643	3,331
仕掛品	7,542	7,954
原材料及び貯蔵品	7,528	8,214
その他	2,003	2,321
貸倒引当金	△140	△223
流動資産合計	61,477	68,833
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,945	4,927
機械装置及び運搬具（純額）	4,963	4,645
土地	1,988	1,988
その他（純額）	2,773	5,111
有形固定資産合計	14,670	16,673
無形固定資産	177	147
投資その他の資産		
投資有価証券	775	1,103
その他	1,380	1,282
貸倒引当金	△95	△104
投資その他の資産合計	2,060	2,281
固定資産合計	16,908	19,103
資産合計	78,386	87,936

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,219	1,672
短期借入金	1,493	1,493
未払法人税等	1,290	1,341
契約負債	4,764	7,338
賞与引当金	634	878
役員賞与引当金	43	34
その他	2,445	2,765
流動負債合計	12,891	15,524
固定負債		
長期借入金	4,624	3,503
役員退職慰労引当金	627	685
退職給付に係る負債	1,132	1,251
その他	164	1,954
固定負債合計	6,548	7,395
負債合計	19,439	22,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	50,855	55,097
自己株式	—	△0
株主資本合計	57,912	62,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	440	666
為替換算調整勘定	639	2,218
退職給付に係る調整累計額	△103	△82
その他の包括利益累計額合計	976	2,801
非支配株主持分	57	60
純資産合計	58,946	65,017
負債純資産合計	78,386	87,936

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	32,754	35,977
売上原価	17,037	17,794
売上総利益	15,717	18,183
販売費及び一般管理費	7,259	8,014
営業利益	8,457	10,169
営業外収益		
受取利息	169	208
受取配当金	20	27
その他	98	114
営業外収益合計	287	350
営業外費用		
支払利息	24	23
為替差損	40	35
固定資産除却損	11	1
訴訟関連費用	7	41
その他	17	24
営業外費用合計	101	124
経常利益	8,644	10,395
税金等調整前四半期純利益	8,644	10,395
法人税、住民税及び事業税	2,545	3,028
過年度法人税等	78	—
法人税等調整額	△37	125
法人税等合計	2,586	3,154
四半期純利益	6,058	7,240
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,046	7,240

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	6,058	7,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109	226
為替換算調整勘定	170	1,581
退職給付に係る調整額	△50	20
その他の包括利益合計	230	1,828
四半期包括利益	6,288	9,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,277	9,066
非支配株主に係る四半期包括利益	11	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

偶発債務

インドの連結子会社 (ASB INTERNATIONAL PVT. LTD.) はインド国税当局より、関係会社間取引価格等に関し、下表表示の同社決算期 (3月期) 4期を対象として更正通知を受けております。インド国税当局の指摘は正当な根拠を欠くものであり、当該更正処分について承服できる内容でないことから、同社はインド国税当局 (紛争解決委員会) に対し、各決算期についてそれぞれ異議申立書を提出いたしました。異議申立が却下された各決算期については、税務裁判所へ提訴するとともに、相互協議申立等を進め、引き続き当社及び連結子会社の見解の正当性を主張して参ります。

同社が更正通知を受け、未解消となっている案件の決算期ごとの状況は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
(1) 2015年3月期		
更正通知の受領	2018年12月12日	2018年12月12日
更正通知税額	126百万インドルピー (213百万円)	126百万インドルピー (218百万円)
異議申立書の提出	2019年1月11日	2019年1月11日
申立却下の決定	2019年9月24日	2019年9月24日
税務裁判所へ提訴	2019年12月30日	2019年12月30日
更正通知税額	126百万インドルピー (213百万円)	126百万インドルピー (218百万円)
(2) 2017年3月期		
更正通知の受領	2021年4月20日	2021年4月20日
更正通知税額	63百万インドルピー (106百万円)	63百万インドルピー (109百万円)
異議申立書の提出	2021年5月29日	2021年5月29日
申立却下の決定	2022年2月17日	2022年2月17日
税務裁判所へ提訴	2022年4月12日	2022年4月12日
更正通知税額	80百万インドルピー (136百万円)	80百万インドルピー (140百万円)
(3) 2018年3月期		
更正通知の受領	2021年9月22日	2021年9月22日
更正通知税額	98百万インドルピー (166百万円)	98百万インドルピー (170百万円)
異議申立書の提出	2021年10月21日	2021年10月21日
申立却下の決定	2022年8月29日	2022年8月29日
税務裁判所へ提訴	2022年10月27日	2022年10月27日
更正通知税額	97百万インドルピー (164百万円)	97百万インドルピー (168百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
(4) 2020年3月期		
更正通知の受領	2023年9月29日	2023年9月29日
更正通知税額	51百万インドルピー (86百万円)	51百万インドルピー (88百万円)
異議申立書の提出	2023年10月23日	2023年10月23日
申立却下の決定	2024年7月5日	2024年7月5日
税務裁判所への提訴	2024年8月30日	2024年8月30日
更正通知税額	87百万インドルピー (148百万円)	87百万インドルピー (151百万円)

(注) 更正通知受領時と税務裁判所提訴時の更正通知税額の差額は、更正通知税額の増減及び金利相当分の増加であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,383百万円	1,383百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	11,172	5,862	9,588	6,131	32,754	—	32,754
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,172	5,862	9,588	6,131	32,754	—	32,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高	124	81	9,982	15,483	25,671	△25,671	—
計	11,296	5,943	19,570	21,614	58,425	△25,671	32,754
セグメント利益	2,062	1,041	2,569	5,052	10,725	△2,267	8,457

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,267百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,492百万円、セグメント間取引消去224百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	13,275	7,440	10,223	5,037	35,977	—	35,977
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,275	7,440	10,223	5,037	35,977	—	35,977
セグメント間の内部 売上高又は振替高	221	91	10,356	17,400	28,070	△28,070	—
計	13,497	7,532	20,580	22,438	64,048	△28,070	35,977
セグメント利益	2,056	1,204	2,822	6,661	12,744	△2,574	10,169

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,574百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,446百万円、セグメント間取引消去△128百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の実績

① 受注実績

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	16,124	9,675	21,821	12,805	135.3	132.3
金型	10,456	6,471	12,536	7,926	119.9	122.5
付属機器	1,933	1,405	2,405	1,893	124.4	134.8
部品その他	4,224	409	5,053	441	119.6	107.7
合計	32,738	17,962	41,817	23,066	127.7	128.4

セグメント別	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	10,370	4,498	15,402	7,779	148.5	172.9
欧州	7,234	3,366	7,919	4,103	109.5	121.9
南・西アジア	9,867	5,015	12,641	6,406	128.1	127.7
東アジア	5,265	5,082	5,854	4,776	111.2	94.0
合計	32,738	17,962	41,817	23,066	127.7	128.4

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

② 販売実績

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)		前年同期比(%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ストレッチブロー成形機	17,068	52.1	18,003	50.0	105.5
金型	9,544	29.1	11,260	31.3	118.0
付属機器	1,991	6.1	1,787	5.0	89.8
部品その他	4,150	12.7	4,926	13.7	118.7
合計	32,754	100.0	35,977	100.0	109.8

セグメント別	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)		前年同期比(%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
米州	11,172	34.1	13,275	36.9	118.8
欧州	5,862	17.9	7,440	20.7	126.9
南・西アジア	9,588	29.3	10,223	28.4	106.6
東アジア	6,131	18.7	5,037	14.0	82.2
合計	32,754	100.0	35,977	100.0	109.8